

宮原青みかんLIP

概要・全体

宮原青みかんLIPは2020年度から始まったLIPで、有田市宮原地区を拠点に活動しています。私たちは①全国的に有名な有田みかんの生産途中で摘果という作業で破棄されてしまう青みかんを有効活用し、価値を再発見するため、②地域の人を巻き込んだイベントを開催し、地域活性化を図っていくためという大きく2つの活動目的を掲げて活動を続けています。今年度は全体の活動として9～10月にクラウドファンディング、11月には大阪天王寺で行われた関西の大学が集まるイベント「ハルカス学園祭」への出展など、様々な活動を行うことができました。各班の活動では、昨年度考えた企画を形にしていく作業や、出た課題を解決することを進めていきました。

レシピ班

レシピ班では、青みかんを使ったレシピ「宮原のメモワール」を考案し、郷土料理化を最終目標にして取り組んでいます。10月に地域の方をお招きして行ったオンラインでの試食会では、「おいしい!」という生の声を聞くことができました。

今後新たなイベントや、新レシピの開発に取り組み、地域の方により親しみを持っていただけるように頑張ります!



商品開発班

商品開発班では、青みかんを活用した様々なものの商品化に向けて活動しています。クラウドファンディングのリターン品として乾燥した青みかんを使ったレジストラップを提案し、作成しました。また、みかんカードや入浴剤の試作も行っています。今後は地域のお店と連携、協力していく予定です。青みかんの利用法がもっと広まり、地域の方にも使っていただけるようにこれからも活動していきます。



イベント班

イベント班は12月に宮原小学校にて青みかん授業を実施しました。子どもたちはみかんに親しみはあるものの、摘果されてしまう青みかんについてはあまり知らないということで、授業では青みかんをどのように活用することができるかについてグループで話し合いました。元気いっぱいの小学生からは多くの斬新なアイデアをもらうことができました。今後も地域の子供たちと交流できるイベントを企画・実行していきます!



広報班

広報班は今年度よりSNSの運用を本格的に始めました。今年度の主な活動は、9月から10月にかけて行われたクラウドファンディングの宣伝活動とLIPのロゴ考案です。インスタグラムは現時点でフォロワー285人を獲得しています。今後は、さらなるフォロワーの獲得とフォロワーの皆さんにより私たちの活動を知ってもらえるよう、各班と連携して定期的な投稿を行っていきたく考えています。



今後の展開

今年の1月から、大阪市立大学の学生・OBの皆さんが有田市で活動を行っている「元気ふるさとづくりサポーター」と協働で会議・イベント企画を行っており、来年度には地域で行うイベントや青みかんを使った商品開発を本格的に合同で行っていく予定です。イベント企画や地域との関わり方をLIP側が学べること、青みかんの商品・レシピ開発についての経験による資源の活用についてを発信できるという相互的な協働のメリットを活かして、さらに地域に貢献していけるように力を注いでいきたいと思ひます。